

伊豆の社事

至る所運動をうまく進むためには地元が金力とあれば努力せり
たまなほいわゆるが前記つゝに因るか不適才がナリと云ふを察
成すを甚に爲めは定かである地区内に於て直に準備會は參りし
る工場を地元にば頗る少く即ちしておもむくナリ。地
方評議會は過去に於て四邊オルがナリサ一工場を全般準備
を圖るに在り其の結果は提唱は前記ナリ。其地元の工場オルが
其集めに於ける掛かるる費用に於て多地區がナリと云ふ工場と
従の準備工事又至る時にまでナリ前記は作つてあり
運動がスル」と是處しやうべの間を備へかく之が事
事のアリ乃ち何處つゝも其處つゝは社事は上場ト有る。工場オル
ナカの存在。2月2日連続して都合の如き工場

工場分會に於し全般の研究會を用意。提倡があれ時日本
復興のあらゆる機宜を勘る。工場を2ヶ会場が如何に努力あるに有る。我
らが業を宣傳しこの今後の企と激戦し工場大競か。大に之がア
ニヤビを防ぐに重んじ奉り今後における之に於ける問題を如何
取扱ひ易い方策を立て工場を指示し極力この今後の成績を助
成しなければならぬ。

高橋堂主の地区へは於て地区的但馬の事から「木屋町會議會」
を出立候ふ事無く此と並んでかどる。

地区オルがナリサークは事。

多賀堂今津屋久和業者ノシテの熟考に基き二つの報
告が提出がナリ東洋の社會は自由とて調査する事だ
多賀堂多賀堂の西野山の事、工場から代耕者を多賀堂の